

相模原市と神奈川県が連携して 森林の災害対応力強化に取り組みます

森林における災害対応力強化のため文書による申合せを交わしました

令和元年東日本台風（令和元年台風第19号）では、相模原市内において倒木や土砂崩れなど多くの森林被害が発生しました。森林における災害対応力を強化するため、相模原市と神奈川県（神奈川県県央地域県政総合センター）では、職員の人事交流、合同訓練や定期的な情報交換の実施などに試行的に取り組んできました。

こうした県市の連携を継続的かつ具体的なものとするため、令和4年3月30日付けで、相模原市長と神奈川県県央地域県政総合センター所長との間で文書による申合せを交わしました。

申合せのポイント

- 1 森林分野において、森林計画、治山、林道及び水源の森林づくり等の各事業担当の枠組みを超え、災害対応力強化のため、平常時から、情報共有基盤の整備、合同訓練や研修の実施などの具体的な連携を行うこととしました。
- 2 災害時においては、平常時の取組みを生かし、臨機に連携し、円滑な情報共有や人員・資機材等の相互支援や技術協力など、被害の軽減と早期復旧に資する取組みを行うこととしました。
- 3 水源の森林づくり事業の担当部門である県央地域県政総合センター森林部（津久井分室・相模原市緑区にある県津久井合同庁舎）に総合的な連携担当者を置き、相模原市森林政策課（津久井総合事務所）との間の連携を図ることとしました。

問合せ先

森林政策課

直通電話042-780-5270

対応責任者氏名 田倉、手平

(参考)



令和3年度 県・相模原市合同山地災害対応訓練（令和3年9月8日）
（神奈川県総合防災センター）



令和元年東日本台風による森林被害（左）と復旧状況（右）
（相模原市緑区牧野地内）



かながわ市町村林政サポートセンターを交え、被災林道の復旧について合同現地検討
（相模原市緑区鳥屋地内）